

雪 ゆき

がとけて

水 みず

になる。

かん

字 じ

で

名 な

まえを

書 か

く。

南 みなみ

からお

日 ひ

さまが

出 で

る。

ともだちのことを

知 し

る。

大 おお

きな

声 こえ

で

音 おん

読 どく

する。

図 と

書 しょ

しつの方

方 ほう

へ

行 い
く。

こたえを

言 い

う。

きれいな

絵 え

を

見 み

る。

木 き

の下

で

休 やす

む。

きょうは土曜日だ。

山に雪がつもる。

本を音読する。

すきなものはやき肉だ。

思い出を日記に書く。

お気に入りの絵をかざる。

はこのつくり方を聞く。

先生が立って話なす。

春にさく花を見つけたる。

黒くろと黄色きいろのあた新たらしいくつ。

目もくひょうを考かんがえる。

太ふとく力ちからづよい手て足あし。

図と書しよしつの本ほん。

しめり気けが多おおい土つち。

高たかいところてに手てをのばす。

あたたかい春はるの風かぜ。

青あおく晴はれた空そら。

たんぽぽのわた毛げ。

大おおきな会社かいしゃ。

犬いぬの体からだをなでる。

いろいろな形かたちに切きる。

小こ刀がたなをかたづけろ。

南みなみにむかう汽車きしゃにのる。

妹いもうとと近ちかくの海うみへいく。

町ちやう内ないにある店みせ。

今いま、姉あねがおきた。

同おなじ長ながさの線せんをひく。

高

たか

高い木

き

のえだを切る。

き

早

はや

早口

くち

ことばを言う。

い

月

つき

月の光。

ひかり

みちを

教

おし

える。

書

か

やき

肉

にく

を食

た

べる。

貝

かい

の名前

な

まえ

をしらべる。

魚

ちい

が元気

げん

き

におよぐ。

海

うみ

の話

はなし

を聞く。

き

広

ひろ

い空

そら

を見

み

上げる。

あ

空そらの雲くもを数かぞえる。

池いけで魚さかなをとる。

手てを後うしろに組くむ。

丸まると点てんを書かく。

夏なつの虫むしをつかまえる。

金きん曜よう日びの天てん気き。

よく考かんえて線せんを引ひく。

学がっ校こうで羽はねを見みつける。

新あたしい家いえをかい。

教きょうか書しょをよ読よむ。

一いち万まん円えんさつ。

新あたらしい歌うたをき聞きく。

妹いもうとの頭あたまをなでる。

五いつつずつ分わける。

たのしい夏休なつやすみ。

黄き色いろい鳥とりがおいる。

汽き車しゃがお通とおる。

男おとこの子こがこ公こう園えんにき来きた。

太

ふと

見

み

手

て

入

いりぐち

同

おな

前

まえ

遠

えん

絵

え

家

いえ

いき

木

き

晴

は

紙

がみ

口

ぐち

組

くみ

後

うし

足

そく

本

ほん

の

ちか

き。

らしのいい

やま

の文

ぶん

で姉

あね

の友

とも

ろをか

うみ

で海

うみ

を

か

くを

み

を直

なお

に会

あ

だち。

をかくにんする。

い

へ行

い

う。

見回

まわ

す。

う。

く。

る。